



緩和ケア病棟のご案内

asakayama general hospital
PANSY WARD INFORMATION

—— 緩和ケア病棟とは ——

『緩和ケア』とは、決して『終末期のケア』を意味する用語ではありません。

どんな病気でも、それによる“苦痛”があるものです。

その苦痛を取り除くために医療を提供するのが『緩和ケア』です。

緩和ケア病棟は、病気のためにそのような身体的・精神的な

様々な苦痛を持つ患者さまが入院するための病棟です。

医師や看護師、薬剤師、栄養士、リハビリテーションスタッフ、

ソーシャルワーカー、心理士等がチームを組み

毎日を穏やかに過ごしていただけるよう支援いたします。

病棟のモットー

おもてなしの心で傍らに寄り添う

『おもてなし』とは『表なし』という意味であり、うら・おもてのない誠実で真摯な態度を心がけ、患者さまの傍らに寄り添うことをモットーにしていきたいと考えております。



病棟の理念

より良く生きるための支援を行います

～私たちは、より良く生きるための支援こそがQOLを維持向上させると考えます～

■ 基本方針

緩和ケア病棟の基本方針は以下の通りとなっております。

- ① がんに伴う身体的、精神的な苦痛や不快な症状を緩和するための治療やケアを提供いたします。
- ② 患者さまが住み慣れた場に戻ることができるように、他の医療機関やケアプランセンター・訪問看護ステーションとの連携を図ります。
- ③ 多職種（医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー、栄養士、事務、ケアワーカー等）でチームを組み、患者さまのQOL（生活の質）の維持向上を目指した支援を行います。
- ④ 患者さまの意思、価値観、信念を尊重し、その人らしく過ごせるように支援いたします。
- ⑤ 治療方針については必要な情報を提供し、患者さま・ご家族と共に選択し決定いたします。

■ 病棟目標

- ① 人に関心を寄せ全人的な視点でアセスメントしケアに繋がります。
- ② 意思決定を支えることを大切にします。
- ③ 希望を持てる支援を心がけます。
- ④ その人らしく生活を送るための支援者になります。
- ⑤ 共に喜び、共に感動する心を持ちます。
- ⑥ 患者さまからの学びを大切に育ちあえる関係作りを目指します。
- ⑦ 温かみのある療養環境を整えます。



《病棟内の空間》

静かな環境で過ごしていただけるように、廊下は足音が響かないカーベットを採用し、より自宅に近い環境で安らかな気持ちでお過ごしいただけます。



《特別室》



《個室》

ゆったりと過ごしていただけるよう、プライバシーに配慮した個室（16床）と2人部屋（4床）を設置しています。



《デイルーム・庭園》

広々とした空間のデイルームでは、看護師やリハビリスタッフなどによる季節感を味わうことの出来るイベントを定期的で開催しています。四季を感じ取れる植栽と緑の広がる庭園へは、デイルームから車椅子やベッドのままでスロープを経由し、外の空気に直接触れていただける仕様となっており、患者さまとご家族へ安らぎのひと時を提供します。

一人ひとりを大切にする医療 私たちの持てる技術で取り組みます。

浅香山病院 緩和ケア病棟のチームケア

まるでご自宅で過ごすような居心地と安心感。

24時間の緊急受入を可能にし、万全のサポートを行っております。

認知症認定看護師のサポートもあり、トータルでバックアップ

【看護師】

看護の実践者として、苦痛の緩和を最優先し、患者さまやご家族が抱える諸問題に対して緩和ケアを提供します。また、患者さまの代弁者となって患者さまの意思決定を支え、より良い日常生活を送れるように支援します。そして、在宅移行に関する相談や在宅にむけての支援を行います。

看護師

訪問看護師

ソーシャル
ワーカー

【ソーシャルワーカー】

病気の療養は、患者さまやご家族の生活に様々な影響を及ぼします。ソーシャルワーカーは、治療のこと、介護のこと、仕事のこと、お金のことなど患者さまやご家族の抱える不安や問題に対して、お気持ちを伺い共に考え、制度等の活用を通じて問題解決に向け支援していきます。お気軽にご相談ください。

【リハビリテーションスタッフ】

(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)

リハビリテーションスタッフが、患者さまの心身の症状に合わせた個別的な活動を提供します。運動療法、物理療法による疼痛緩和、安全安楽な生活動作訓練、嚥下機能に応じた食形態のご提案をいたします。ご家族には、お身体に負担の少ない「身体介護動作」についてご提案いたします。また、ご退院の前には担当者が「家庭訪問」させていただき、必要な福祉用具や住宅改修のご提案をいたします。

医師

訪問医師

薬剤師

地域医療
連携室スタッフ

心理士

【心理士】

がんになると、なかなか周りに話すことの出来ない心配ごとや悩みが出てきます。ご家族同士であっても、お互いを思うがゆえに、話しにくいこともあるでしょう。心理士はこうした「気持ちのつらさ」を患者さまやご家族が一人で抱え込まないように、ゆっくりと話をしながら、その人の立場でどうしたら良いかを一緒に考えます。

管理栄養士
・調理師

【管理栄養士・調理師】

本来楽しみの一つであるはずの食事が、病状の変化により苦痛に感じたり、思うように食事が進まない場面も見られます。患者さまそれぞれの好みに合った食事を選択していただき、食事が楽しみの一つとして感じていただけるようサポートしていきます。

リハビリスタッフ

ケアワーカー

ボランティア

チームでケアをしています

患者さま・ご家族さま



どんなことでもお気軽にご相談ください

緩和ケア病棟 ご入院までの流れ

1

電話相談 まずはお電話にてご相談ください。担当スタッフがお話をお伺いします。

TEL.072-229-9232(直通) / FAX.072-229-9267

公益社団法人浅香山病院 地域医療連携室
(受付時間:月～金 8:30～17:00 / 土 8:30～12:00 / 日・祝定休)

2

紹介状(診療情報提供書)の送付または FAX

現在の主治医の先生(かかりつけ医)へご依頼ください。現在の主治医の先生にご記入いただいた後、郵送(地域医療連携室宛て)または上記番号まで FAX をお願いします。

3

「緩和ケア外来」診察(面談)日の調整

ご送付いただいた紹介状(診療情報提供書)を担当医が事前に拝見した上で、「緩和ケア外来」診察(面談)日を決定させていただきます。

4

問診票のご記入

患者さまとご家族にご記入いただく用紙(問診票)をご自宅へ郵送いたします。ご記入いただいた上で診察(面談)日当日にご持参ください。

5

「緩和ケア外来」診察(面談)

ご連絡した診察(面談)日に患者さまやご家族にお越しいただき、担当医師・看護師等と面談していただきます。 ※ご希望により病棟内の見学も承ります。

【面談時の持ち物】 1. 紹介状(診療情報提供書) 2. レントゲン・CT等の画像、採血データ
3. 問診票 4. 健康保険証(カルテ作成のため)
5. 診察(面談)料 ※患者さまご本人がいらした場合、健康保険が適用となりますが、ご家族のみお越しいただいた場合は面談料が発生します。

6

入院判定審査会

担当医師・看護師・ソーシャルワーカー等の病棟スタッフにより、お受け入れについての協議を行います。

7

待 機

他の待機患者さまの病状などを考慮しながら入院日の決定を行った上で、ご連絡いたします。

8

ご入院

他医療機関に入院中の方は、当院よりお迎えにまいります。
(医療上、お迎えのご希望に添えない場合もございますので、予めご了承ください。)



よくあるご質問

Q. 緩和ケア病棟ではどんな相談にのってもらえますか？

A. 医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、臨床心理士、ソーシャルワーカーがチームを組んで、患者さまやご家族の抱えている身体的、精神的、社会的問題等全ての悩みや疑問について相談に応じます。

Q. 通院中、もし夜間・休日に調子が悪くなったら不安なのですが…

A. 当院は、救急指定病院として内科 24 時間体制で診療を行っています。どうぞご安心ください。なお、必ず来院前に電話でのご連絡をお願いします。

Q. 入院費用はどれくらいかかりますか？

A. 緩和ケア病棟だからといって特別にお金がかかるということはありません。緩和ケア病棟での医療費も他の病棟と同じく保険診療で計算します。医療費（負担額）は各種の保険にて異なりますので、詳細については医事課までお問合せください。

Q. 希望すれば長期入院が可能ですか？

A. 基本的に、長期療養を目的とする病棟ではありません。症状がコントロールされて落ち着いた状態になれば、なるべくこれまでの療養の場である家で過ごしていただけるように支援させていただきます。病状が悪化した場合は、いつでも入院していただけます。

Q. 家族の付き添いはできますか？

A. 基本的には不要ですが、患者さまやご家族のご希望があればいつでも付き添うことは可能です。家族控室も2室用意しております。

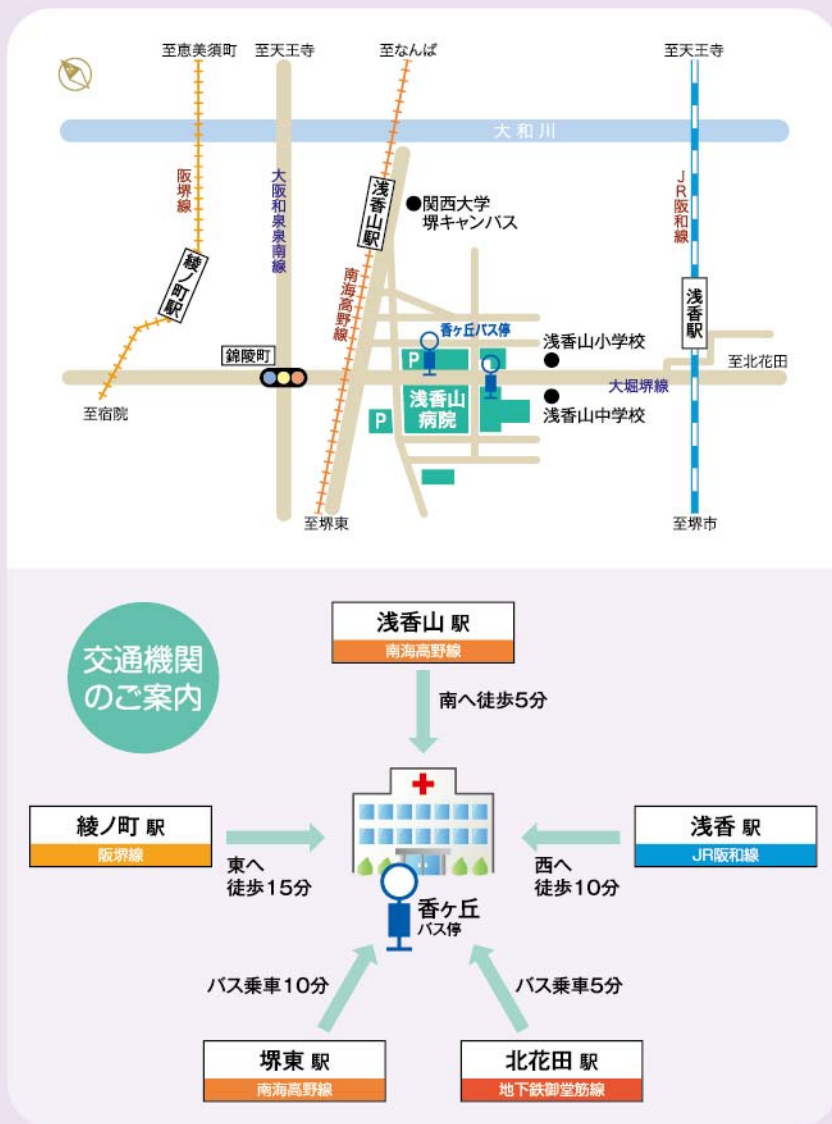
Q. 認知症、精神疾患があっても受け入れてもらえますか？

A. 認知症、精神疾患が理由で受入が出来ないことはありません。まずはご相談ください。

Q. 入院した後、家に帰る事はできますか？

A. 体調が落ち着けば、外出や外泊はできますし退院も可能です。退院後も安心して家で過ごせるように、地域の医療機関や訪問看護ステーションなどと連携を取りながら、在宅療養の準備を整えます。





公益財団法人 浅香山病院

〒590-0018 大阪府堺市堺区今池町3丁3番16号 / TEL.072(229)4882 FAX.072(232)3787